

共和・新共和の環境調査について

1 前回会議の内容

共和・新共和の処分場跡地で行っている環境調査を今後も継続すべきか否かについて、前々回の会議から御検討いただいております。

前回の会議では、共和・新共和の現況、これまでの水質調査及びガス測定の結果について事務局より説明した上で、委員の皆様にご審議いただきました。

2 前回の検討結果

(1) 水質調査について

過去20年近くに渡って、有害物質、生活環境項目ともに基準値未満で推移しており、問題点は見当たらないため、原則終了とするとの結論になりました。

(2) ガスの測定について

微量のアンモニアや硫化水素が検出されており、健康に影響はないものの悪臭の原因とはなりうる状況であるため、測定は継続すべきとの御意見があった一方、微量であるため問題視する程ではないとの御意見もあり、次回以降の継続審議となりました。

副会長より、ガス抜き管深部までの詳細な測定を行うとの申出があったため、その測定結果が出た後に、改めて審議を行うこととなりました。

3 今後の対応

現在、令和6年度予算要求の作業を行っておりますが、共和・新共和における環境調査に関して、水質調査は前回審議結果のとおり調査を終了することとし、ガス測定については、まずは継続する方向で準備を行い、次回以降の審議で内容が決定した時点でその内容を反映するという形で進めてよろしいか、御審議をお願いします。